

# 松前重義の教育観に学ぶ旅 農村青年教育の足跡を訪ねて

## 「望星学塾」から「英世学園」へ ……

デンマークの国民高等学校をモデルとして望星学塾を創設した松前重義は、科学技術者として科学技術者運動を展開すると同時に、農村に健全なる文化を作る使命感の下に農民教育に当たりたいという願望を抱いていました。

昭和 20(1945)年 8 月、戦争は終結しました。この敗戦の苦難を試練と受け止めた松前は、「新しい日本を作る出発点は教育にあり」とする信念から戦後復興の第一歩を猪苗代湖畔にするしたのでした。スイスの宗教改革者、ジョン・カルビンがヨーロッパの水源地であるスイスのジュネーブに於いて改革の声をあげた故事にならい、日本の水源地として磐梯山と猪苗代湖を選び、農民教育機関(英世学園)の設置場所としたのです。

戦後の社会情勢から活動は短期間でしたが、戦前の「望星学塾」から戦後の「英世学園」へとつながる教育実践には、キリスト教精神に基づくバランスのとれた人間形成、平和な世界を求める人づくりの場という松前重義の教育観が最も反映されているといえます。

学校法人東海大学建学 75 周年にあたり、本塾では猪苗代湖畔を訪ね、建学の源流に触れる旅を企画しました。趣旨をご理解の上、ご参加賜りますようご案内申し上げます。

2017 年 9 月

学校法人東海大学望星学塾  
副塾長(研修責任者) 橋本敏明

日時:2017 年 10 月 14 日(土) 定員:20 名(最小催行人数:10 名)

**現地集合・解散**

集合場所:福島県磐梯町 郷土料理「たか膳」 <福島県耶麻郡磐梯町更科字堰下 4659-1>

研修場所:天鏡閣(講話・見学)、公益財団法人野口英世記念館(見学) ※行程詳細は裏面

解散場所:福島県猪苗代町 公益財団法人野口英世記念館 <福島県耶麻郡猪苗代町大字三ツ和字前田 81>

参加費:講座会員 3,000 円、一般 3,500 円 ※事前支払(申込受付後、振込口座のご案内をいたします)

<参加費に含まれるもの>①昼食代 ②研修費 ③入館料

**申込締切:2017 年 9 月 27 日(水)**

※当初計画していた 10 月 14 日～15 日の 1 泊 2 日研修を変更し、**1 日研修** として実施します。

学校法人東海大学望星学塾 〒180-0013 東京都武蔵野市西久保 1-17-1

TEL: 0422-51-0161 FAX: 0422-53-1025 E-mail: [bosei@tokai.ac.jp](mailto:bosei@tokai.ac.jp)

申込方法 電話または申込用紙を FAX・郵送・メールでお送りください (申込日 2017 年 9 月 日)

### 学校法人東海大学建学75周年記念行事 望星学塾特別研修(現地集合・解散)

お名前	フリガナ		アレルギー		性別	
			有・無			
現住所	〒		食材にアレルギーのある方は 具体的にお書きください		男 ・ 女	
電話番号		生年月日	西暦	年	月	日
当日繋がる 電話番号		望星講座会員 ・ 一般 ・ 同窓生 ・ その他				
研修中の 留守宅 連絡先	〒		電話番号			
			本人との 関係			

# 英世学園の設立と目的

戦後、松前重義は以前にも増して青年教育の必要性を痛感し、教育機関の再建に踏み出すとともに、デンマークの歴史を範とした農村教育に取り組んだ。これが英世学園で、1946年11月15日福島県猪苗代湖畔（現・天鏡閣）に日本国民学舎を開校した。猪苗代湖畔は、野口英世を産んだ地でもある。英世学園の名称はここに出発した。入学案内書に、松前は、「国を愛し、郷土を愛し、人を愛し、世界を愛する若い諸君よ。来って汝の魂に火を点ぜよ。汝の希望を聖なる天空の星に繋げ」と記している。英世学園は短期間で閉校を余儀なくされたが、その活動は遠藤栄牧師によって1948年から「湖畔聖書学校」として継続され、松前は毎年夏の講義を行った。



福島県知事と英世学園校地を探すため猪苗代湖畔視察した松前重義（右前）

英世学園国民学舎入舎式（1946年11月）



英世学園開設当時の天鏡閣



国民学舎生と教員たちが共に食事をする



湖畔聖書学校で講義を行う松前重義（1978年8月）

資料提供：学園史資料センター

## 研修行程（時間を変更しております。ご確認ください）

時間	場所	内容・備考
12:00	たか膳 ※現地集合	研修のオリエンテーションを行います。 郷土料理“わっぱ飯”をお楽しみください。
13:00	移動	
13:15	天鏡閣（見学） 橋本敏明副塾長講話	天鏡閣は、高松宮宣仁親王殿下より福島県に御下賜された建物です。 英世学園の学舎として使用され、また英世学園の教育活動を引き継いだ湖畔聖書学校としても使用された建物です。
14:45	移動	
15:00	野口英世記念館（見学）	江戸時代後期、1823（文政6）年にこの建てられた生家が展示されています。 清作（英世）が1歳半の時に落ちてやけどを負った囲炉裏や、上京の際床柱に刻んだ決意文も当時のままに保存されています先覚の思想と行動に学びます（望星学塾設立前の教育研究会では野口英世博士の人物研究が行われた）。
15:50	行程終了・解散	

お問い合わせは、望星学塾 研修担当 有賀・蓮見 までお願い致します。

### ☆東京発着の推奨アクセス☆

#### 【東京→現地】

8:56 東京駅発(やまびこ129号 仙台行 自由席)  
10:13 郡山駅着  
10:44 郡山駅発(磐越西線快速 会津若松行)  
11:36 磐梯町駅着 「たか膳」までタクシー 5分

#### 【現地→東京】

16:51 猪苗代駅発(磐越西線 郡山行)  
17:34 郡山駅着  
18:05 郡山駅発(やまびこ152号 東京行 自由席)  
19:28 東京駅着